

会社の状態 4つのエリア

危険ゾーン	働きやすさ・働きがいとともに低く、組織の基盤が不安定な状態です。業務負荷・心理的安全性・処遇など複数の課題が重なり、離職や生産性低下のリスクが高まっています。
ぬるま湯ゾーン	働きやすさは確保されているものの、働きがいが高く、成長や挑戦の機会が不足している状態です。現状維持にとどまりやすく、長期的な停滞リスクがあります。
燃え尽きゾーン	働きがいは高いものの、働きやすさが低く、個人への負荷が高い状態です。短期的な成果は出る一方で、疲弊や離職リスクが高まっています。
理想ゾーン	働きやすさ・働きがいとともに高く、好循環が生まれている理想的な状態です。現状維持ではなく、再現性の確立と組織全体への展開が重要です。